

アンケート

教職員の 心のケアについて

昨日、学校業務の上で心の疲れや孤立を感じる教職員が増え、その支援策については一校の枠を超えているのが現状です。地区によつては学校間の連携ネットワークを活かすべく様々な模索を行つてゐるといふことであります。この問題については教育同盟金等で受けとめていく必要があります。そこで今回のアンケートでは、各校の実情を相互に知り合い、今後の取り組みに活かしていけたら、という目的で小中高を対象に実施し、約半数の学校から回答を得ました。ご協力を感謝いたします。

集計は中高等学校に分類して行いました。校名は記載しておりません。なお、小学校については回答例が少なかつたため事例の項目分けはございませんでした。お問い合わせは教育回覧事務局へお願いします。

昨年度より教育回覧はこれまで以上に学校現場の課題に焦点を当てるこ

きました。それは新しい研修会の設置などといった具体化していますが、やはり根本は教職員の心と体力的な健全さに尽きます。昨年の学校代表者協議会の「教育同盟の使命の現代的課題」④の「教育(生)支援研修会」がまさにそのことを問題にしています(本紙1月号に掲載)。本紙5月号では、教育同盟といつ組織を「媒体」として外郭団体との連携を含めながら、教職員支援のネットワークを紹介いたしました。そのネットワークがそれぞれの地区で機能していくために教育同盟が存在すると考えるからです。

中高		小学校		回答数53(50・5%)	
産業医・労働安全衛生法に基づき、一定規模の事業所等において労働者の健康管理等を行ふ医師。	産業医・労働安全衛生法に基づき、一定規模の事業所等において労働者の健康管理等を行ふ医師。	産業医・労働安全衛生法に基づき、労働者の危険または健康障害を防止するための基本となるべき対策などの重要事項について十分な調査審議を行つたために、一定の基準を満たす事業所に	産業医・労働安全衛生法に基づき、労働者の危険または健康障害を防止するための基本となるべき対策などの重要事項について十分な調査審議を行つたために、一定の基準を満たす事業所に	※語句説明	※語句説明
回答者=校長21、副校長12、教頭11、宗教主任2、教諭1、養護教諭1、カウンセラーや事務室2(兼)	回答者=校長21、副校長12、教頭11、宗教主任2、教諭1、養護教諭1、カウンセラーや事務室2(兼)	中高	中高	会員会、衛生委員会を統合したものが、毎月一回開催。委員の構成は、統括(安衛衛生)管理者、安全管理管理者、衛生管理者、	設置を求められる安衛委員会で教職員の業務上であり得る可能な支障事例はありますか?
2-1 「ある」とお答えの方	2-1 「ある」とお答えの方	22(41・5%)	22(41・5%)	ない	ない
えの場合、簡単にどのうなケースが紹介しだいじにも、具体的に対応支援をされていく	えの場合、簡単にどのうなケースが紹介しだいじにも、具体的に対応支援をされていく	31(58・5%)	31(58・5%)	ある	ある
したうの紹介ください。	したうの紹介ください。				

委員会・養護教諭・スクールカウンセラーとも協力体制をもつた。初任者は孤立感やストレスを感じるので「初任者研修委員会」を発足させ、1学期～1年生徒との対応の仕方・保護者との対応・心構え等、2学期～授業力の向上、3学期～次年度の担任力・学級経営力を身につけることを主として研修を行っている。週に1回～2時間、管理者と初任者が交流しながらつづばりに情報交換する「初任者サポート会議」も開催している。

主治医と産業医、養護教務分掌をはずして復帰。体調不良時も支障、休職。代講を複数の教員が分担。校医に相談したが、学校外の連携は考えていなかった。☆新任教員が多くて心身のバランスを崩し、医師の判断で休職。残業をしないように管理職や学年主任から声がけをしたが、本人からの申し出はな

職務 情報交換。

☆初年度多忙による断続的な欠勤。授業の進度に委託しての家族は、家庭の家業は、ラインが、運営上訴え休職。医と面接報告書を提出。配慮を洗い、一ムカシノ長部長・海

口にない外部の声を紹介。

が続休職。希望する者は養成講習やマネジメントセミナーに参加して、必要に応じて法人内の大学が利用できる。
一方、民間会社には常勤労働者として専門医療相談ホットラインが設けられ、民間会社による労働相談機関も開設され、労働問題が心労を解消する定期的な主治医療相談室が設けられ、産業医への依頼が増加している。他職員にも安心感を与えるため、院内に精神保健室が設けられ、校内ケニア病院の精神科医による定期的相談が実施されている。

はは医療の判断に、産業医、本人、☆適応の三者で決定。復業時間や職務の定期的な通院の許可する。病のため休職、病院セミナー、授業等を行つたが、学習意の理解を示す後復職。周囲のあり職場も大きくなりはない。

疾患による休職。

の面談（症状、原因、把握、主治医、産業の意見、アドバイス、休暇・休業の案し、本

☆管理 プレッサ 行つ ☆不安 発症。

障害の診断が出て
いる。個人的問題に寄
つては、原因と思わ
れる職に対する教員の
不満や、配置転換
を希望する教員が
いた。

物の海外輸出に人を賣つてよといふ。ハビリ出勤、一部免除を含む段階的な打ち出した。三月には、千葉のアラカルトの熊勢の相談を行つた。

の申出を感和し、勤務の環境調整を試みる。この病診断は、後、理学的検査の結果、心臓病と診断される。この病状は、心臓病と診断される。この病状は、心臓病と診断される。

A black and white photograph showing several people working on a golf course. Some are using shovels to move dirt, while others are carrying equipment or supplies. The scene depicts a large-scale construction or maintenance project at a golf course.

☆学級崩壊による心身の不調
症。学生、教育相談部、
管轄職を中心とするクラス・教員・保護者への対応。
最終的に担任変更を行つて事態を沈静化。
☆一部の生徒や保護者が「カレー」が来て自信喪失し、休みがちとなり、等で負担感を抱いています。
☆運動部の活動も減らされています。
その休職。

内、休職中の給与・手当等の案内、本人の希望によりハビリ出勤の対応定期的な電話連絡。☆諸問題の心労どうつ症状で勤務状況が悪化し休職・職場復帰に向けて校務分掌・授業時数の軽減・安全部衛生委員会等の対応。(2月より) 1945年8月
カリスト教育者物語

月9日長崎で原爆
復 鎮西

学院 復興の父

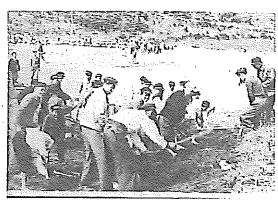
キリスト教教育者 物語

鎮西學院

千葉胤雄



長崎ウエスレヤン大学学長



ゴルフ場を開墾

